



二葉幼稚園

園のたより

2021年



6月の聖句

ののほなが どのようにそだつかを
かんがえてみなさい
ルカ12:27

6月のさんびか

このはなのように
こどもさんびか かいえばん115

やってみたい



今迄出会った子ども達、ご家族との場面1つ1つが私の宝物となり、パワーとなっています。勤めた園はいずれも保護者が送迎する園。あるお父さんは、朝送り届けると必ず「❖、愛してるよ〜」と片手を大きく振りながら、にこやかに仕事へ行かれました。❖君はいつも照れ笑い。周囲が思わず笑顔になる幸せな朝。何年経っても、その情景は色褪せることなく心の中に輝き続けています。

先日の雨の朝、年少組のお母さんに「雨の中、有り難うございます」とお声かけすると「皆さん、凄いですね!」と笑顔で仰っていました。そうなんです! 毎日の送迎、本当に凄く貴重なんです!

4月、各ご家庭までの通園路を確認に伺いました。雨の日も猛暑日も寒い日も心地良い日も、この道程を子ども達と一緒に通って下さっている、と実感した先生達は、しみじみと感謝の思いを口にしていました。だからこそ!! 今日の日を、この一時を、より大切に過ごしたい、子ども達が今日も楽しかった〜! という思いで眠りにつけるよう、また明日を楽しみにできるように「これはどうだろう?」「こんなことをやってみよう!」と精一杯保育の準備に精を出し、毎朝、祈り合う先生達です。

勿論、園生活は皆で築きあげるもの。子ども達発信で展開することもしばしば…。

ある日、年長の♠君「カタバミでな、10円玉磨いたらピカピカなんねん!」「へ〜!」すぐさま、担任初挑戦の巻「うわ!凄くないですか? おもしろ〜い!」早速、年長さん、せっせとカタバミ集め。知らぬ顔して園庭に出て行くと「見て! カタバミいっぱい集めてん!」と☼君。「カタバミで何するの?」「えっとお金ピカピカすんの」「へ〜お金? 何でもいいの?」「うん、10円玉」「面白そう! 先生もやってみたい!」また、ツカツカ歩いていると今度は☺君。「せんせ〜、カタバミをさ、いっぱい見つけたから1つあげる!」「うわあ、いいの? カタバミ、葉っぱハートだね!」「うん、これでね、10円こすると綺麗になるんだよ」「やってみるね!」草花と出会い、不思議さに心躍り、笑顔の花が咲きました。「面白い! やってみたい!」の気持ちが広がるような日々を、皆で綴りたいですね!

年中組で70周年記念園歌「二葉幼稚園の歌〜ひかりのてんし〜」を歌いました。34人の大世帯になった子ども達は、広い保育室で大きなサークルになっても皆落ち着いて、前で話す人の言葉に耳を傾けていました。1回歌うと「もう1回歌いたい!」と☼君。皆で覚え易いクラス名の歌詞の所を手拍子付きで歌いました。帰宅後も園歌CDをかけて、子は笑顔母感動等嬉しい報告が続々。

年少初めての弁当日、子ども達は朝からお弁当が嬉しくて待ち遠しくて。ふと見ると♡先生が誰かのリュックを肩につけています。「あれ?☼ちゃん、お弁当食べたすぎてふふふ」と。いよいよ昼食時潜入すると蜂も参入「あ! 蜂さんも食べたいのかな。少し電気消すね」と自然光の中、誰も動じず愛情詰まったお弁当を「見て!」「おいしい」と座ってもぐもぐ夢中で食べた、気散じなことり組でした。

手遊び♪リングがころころ♪が大ヒットしたつくし組。皆の大合唱が愛らしい。ある降園時、普段なら真っ先にご家族の迎えを待つ☼君。殆どの子ども達が入り口に密集?しているのにサークルの椅子に座り1人で♪パイナップルブルと両肩をすぼめ軀を小さくしてブルブル震えて歌っています。離れて見てた私と目が合うとにこ〜と歩み寄り「楽しかった!」と。少しずつ安心で楽しい所になあれ。

様々な試練はあれど、かけがえのない幼児期、子ども達が自分らしく伸びやかに過ごせるよう、皆さまとご一緒に「ワクワク、ドキドキ」や知恵を持ち寄り、豊かな時を過ごせますように! 野の花ささも目をかけて下さる神さまの、時に辛く厳しくもある大きな愛を信じて…【園長】